

1号機

- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。
また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。
(1月8日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)
(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
1号機の原子炉注水設備においては、1月8日13時46分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(1月8日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)
1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査終了後に原子炉注水量を変更する予定だったが、水中 ROV の装置不具合に鑑み、調査を一時中断することとした。これに伴い、1月13日午後2時33分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(1月13日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。
- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査再開の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。
また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。
(1月27日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)
(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
1号機の原子炉注水設備においては、今後の水中 ROV による調査再開の準備に伴い、1月27日午前11時35分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(1月27日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)
1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査終了に伴い、2月1日午後3時56分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(2月1日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。
- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。
また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。
(2月6日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)
(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
1号機の原子炉注水設備においては、今後の水中 ROV による調査の準備に伴い、2月6日午後2時55分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(2月6日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。
また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。
(2月28日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)
(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)
2月28日午前10時35分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(2月28日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
3月8日午後4時5分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(3月8日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。
- 1号機の原子炉注水設備において、流量調整弁取替後の注水試験を行うため、下記の予定で原子炉注水量の変更を行う。
なお、注水試験中に原子炉格納容器の水位が想定した水位に到達した場合は、予定よりも早く原子炉注水量を変更させる場合がある。
(3月14日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→3.0 m³/h)
(3月15日の原子炉注水量変更予定:3.0 m³/h→4.0 m³/h)
試験に伴い、一時的に3.0 m³/h～5.0 m³/hの範囲で原子炉注水量の変更を行う。
3月14日午前10時45分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(3月14日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→3.0 m³/h)
3月15日午後0時55分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(3月15日の原子炉注水量変更:3.0 m³/h→4.0 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。
- 1号機の原子炉格納容器の水位については、今後の水中 ROV による調査の準備として、原子炉への注水量を以下のとおり増加させる。
また、調査終了後には準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり減少させる。
(3月24日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→6.0 m³/h)
(調査終了後の原子炉注水量変更予定:6.0 m³/h→4.0 m³/h)
3月24日午前10時33分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。
(3月24日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→6.0 m³/h)
- 1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査に伴い、原子炉への注水量を6.0 m³/hに増加させているところだが、ROV でペDESTAL内から上部を確認したところ、原子炉注水と思われる多くの滴下があり、ROV のカメラによる映像確認が困難なため、原子炉注水による影響の緩和を目的に、本日3月30日、準備が整い次第、原子炉への注水量を以下のとおり一時停止する。ROV による上部の確認後に、注水量を6.0 m³/hに戻す。
なお、原子炉注水の停止時間は3時間程度を予定している。
(3月30日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→0.0 m³/h→6.0 m³/h)
引き続き、水位計および関連パラメータについて、慎重に監視する。
1号機の原子炉注水設備においては、水中 ROV による調査終了に伴い、本日午後3時28分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(4月1日の原子炉注水量変更:6.0 m³/h→4.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

・1号機の原子炉注水設備においては、水中ROVによる調査終了に伴い、原子炉注水量を4.0 m³/hに減少させ、原子炉格納容器水位を調査時の水位から低下させていました。その後、当該水位は安定傾向となりましたが、一方で地下水流入量の抑制による建屋滞留水発生量の減少に伴い、原子炉注水に利用する淡水の生産量も減少していることから、淡水の使用を抑えるため、下記の通り注水量低減操作を行う。

(4月13日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→3.8 m³/h)

4月13日午前11時31分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(4月13日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→3.8 m³/h)

水位計および関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

2号機

・2号機原子炉格納容器ガス管理設備については、今後の原子炉格納容器内部詳細調査における、堆積物除去及び格納容器内の干渉物除去に伴い、格納容器内のダスト飛散が懸念されるため、原子炉格納容器ガス管理設備のフィルタ出口にフィルタ付仮設局所排風機を設置することから、当該設備を停止して作業を行なう。

・当該設備停止中は、特定原子力施設に係る実施計画第1編第24条に定める運転上の制限「原子炉格納容器ガス管理設備の放射線検出器は1チャンネルが動作可能であること」を満足しなくなることから、特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を適用し、計画的に運転上の制限外に移行し作業を実施する。

当該設備の停止予定日は以下のとおり。

<停止予定>

2月27日

・2月27日午後0時18分より特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条(保全作業を実施する場合)第1項を適用し作業を開始した。

・2月27日予定していた作業が終了したことから午後1時5分に当該設備を起動した。その後、当該設備の動作確認において異常が無いこと、および短半減期核種モニタの指示値に有意な変動がないことから、午後3時40分に特定原子力施設に係る実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)の適用を解除した。

なお、当該設備の停止期間における関連監視パラメータについては、異常なし。

・2号機の原子炉注水設備において、流量調整弁取替後の注水試験を行うため、下記の予定で原子炉注水量の変更を行う。

なお、注水試験中に原子炉格納容器の水位が想定した水位に到達した場合は、予定よりも早く原子炉注水量を変更させる場合がある。

(2月28日の原子炉注水量変更予定:1.7 m³/h→3.0 m³/h)

(3月1日の原子炉注水量変更予定:3.0 m³/h→1.7 m³/h)

試験に伴い、一時的に3.0 m³/h～5.0 m³/hの範囲で原子炉注水量の変更を行う。

2月28日午後6時12分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月28日の原子炉注水量変更:1.7 m³/h→3.0 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

・2号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)循環冷却系においては、設備改修実施に伴い、3月22日午後から4月5日までの間、一次系※の運転停止予定。

当該設備については設備改修に伴い水抜きを実施したところ、作業エリアの雰囲気線量上昇が確認された。作業エリアの雰囲気線量上昇に伴い設備改修期間を延長することから、運転停止予定期間を4月12日まで延長する。停止期間終了時点でのSFP水温度を、以下の通り評価。3月20日午前9時現在のSFP水温度が約19.7℃であり、放熱を考慮し停止期間終了時点で約37.6℃と評価。

3月22日午後1時53分、SFP循環冷却系の運転を停止。冷却停止時のSFP水温度は20.2℃。予定作業が終了したことから、4月12日午後5時40分、SFP循環冷却系の運転を再開。運転再開後のSFP水温度は37.9℃。運転状態について異常がないことを確認。

※3月22日から一次系、二次系を運転停止予定と記載しておりましたが、正しくは一次系のみ運転停止だったことから二次系の記載を削除しています。(4月5日削除)

・2号機の原子炉注水設備においては、原子炉の冷却に必要な注水量より余裕を持った注水(1.7 m³/h)をしているが、現在の原子炉の崩壊熱を踏まえた注水量へ低減操作を下記の予定で行う。なお、現在の原子炉の崩壊熱の冷却に必要な注水量は1.0 m³/hであり、この必要な注水量に自然変動分などを考慮した注水量の1.5 m³/hへの変更のため、原子炉の冷却に問題とならない範囲での低減操作となる。

(4月6日の原子炉注水量変更予定:1.7 m³/h→1.5 m³/h)

4月6日午後1時49分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(4月6日の原子炉注水量変更:1.7 m³/h→1.5 m³/h)

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視する。

3号機

・3号機の原子炉注水設備において、流量調整弁取替後の注水試験を行うため、下記の予定で原子炉注水量の変更を行う。

なお、注水試験中に原子炉格納容器の水位が想定した水位に到達した場合は、予定よりも早く原子炉注水量を変更させる場合がある。

(2月21日の原子炉注水量変更予定:3.7 m³/h→4.0 m³/h)

(2月22日の原子炉注水量変更予定:4.0 m³/h→3.0 m³/h)

(2月24日の原子炉注水量変更予定:3.0 m³/h→3.7 m³/h)

試験に伴い、一時的に3.0 m³/h～5.0 m³/hの範囲で原子炉注水量の変更を行う。

3号機の原子炉注水設備においては、流量調整弁取替後の注水試験に伴い、2月21日午前10時47分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月21日の原子炉注水量変更:3.7 m³/h→4.0 m³/h)

2月22日午前午後0時48分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月22日の原子炉注水量変更:4.0 m³/h→3.0 m³/h)

2月24日午前11時36分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(2月24日の原子炉注水量変更:3.0 m³/h→3.7 m³/h)

3月1日午後7時35分、原子炉注水量を以下のとおり変更した。

(3月1日の原子炉注水量変更:3.0 m³/h→1.7 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視する。

・3号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位に低下傾向が見られたことから、原子炉注水量を3.7 m³/hまで増加させ水位の傾向を監視してきた。

その後、水位は緩やかに上昇傾向が継続していることから、水位の微調整のため3月10日午前11時22分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(3月10日の原子炉注水量変更:3.7 m³/h→3.6 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

今後も、水位の傾向を見ながら微調整のための流量調整を以下の範囲内で行う。

(3.5 m³/h±0.3 m³/h程度)

流量調整を実施した際には、実施の都度、流量調整の実績をお知らせする。

引き続き、慎重に監視する。

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

現時点での特記事項なし

6号機

現時点での特記事項なし

水処理装置および貯蔵設備の状況

【タンクパトロール結果】

現時点での特記事項なし

【H4, H6エアータンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【セシウム除去設備】

現時点での特記事項なし

【多核種除去設備(ALPS)】

現時点での特記事項なし

【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【淡水化装置】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮水処理設備】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮廃液タンク水処理設備】

現時点での特記事項なし

【その他】

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- ・一時貯水タンクB 1月1日午前10時16分～午後2時58分。排水量701m³
- ・一時貯水タンクC 1月2日午前10時16分～午後2時51分。排水量682m³
- ・一時貯水タンクG 1月4日午前10時17分～午後2時7分。排水量570m³
- ・一時貯水タンクJ 1月6日午前11時3分～午後4時30分。排水量814m³
- ・一時貯水タンクA 1月8日午前9時50分～午後3時42分。排水量873m³
- ・一時貯水タンクB 1月10日午前10時34分～午後4時47分。排水量928m³
- ・一時貯水タンクD 1月12日午前11時14分～午後4時7分。排水量729m³
- ・一時貯水タンクE 1月14日午前10時24分～午後3時7分。排水量703m³
- ・一時貯水タンクF 1月16日午前10時26分～午後2時51分。排水量658m³
- ・一時貯水タンクA 1月18日午前10時27分～午後2時53分。排水量660m³
- ・一時貯水タンクB 1月20日午前11時38分～午後4時28分。排水量718m³
- ・一時貯水タンクD 1月22日午前9時57分～午後3時9分。排水量774m³
- ・一時貯水タンクE 1月25日午前11時42分～午後4時28分。排水量709m³
- ・一時貯水タンクF 1月26日午前10時35分～午後3時1分。排水量659m³
- ・一時貯水タンクA 1月28日午前11時26分～午後3時40分。排水量630m³
- ・一時貯水タンクB 1月30日午前10時28分～午後2時49分。排水量647m³
- ・一時貯水タンクD 2月2日午前10時～午後1時58分。排水量574m³
- ・一時貯水タンクC 2月3日午前10時24分～午後2時35分。排水量624m³
- ・一時貯水タンクF 2月5日午前10時19分～午後3時43分。排水量805m³
- ・一時貯水タンクA 2月7日午前10時29分～午後3時39分。排水量770m³
- ・一時貯水タンクB 2月9日午前10時11分～午後3時27分。排水量787m³
- ・一時貯水タンクD 2月11日午前10時23分～午後3時50分。排水量811m³
- ・一時貯水タンクC 2月13日午前10時57分～午後3時50分。排水量728m³
- ・一時貯水タンクJ 2月15日午前11時51分～午後4時24分。排水量677m³

- ・一時貯水タンクA 2月17日午前11時41分～午後4時。排水量644m³
- ・一時貯水タンクB 2月19日午前10時32分～午後1時59分。排水量515m³
- ・一時貯水タンクE 2月20日午前10時55分～午後2時38分。排水量552m³
- ・一時貯水タンクF 2月22日午前11時10分～午後4時2分。排水量726m³
- ・一時貯水タンクJ 2月24日午前10時25分～午後3時7分。排水量698m³
- ・一時貯水タンクG 2月26日午前10時16分～午後1時31分。排水量484m³
- ・一時貯水タンクB 2月27日午前10時25分～午後1時58分。排水量527m³
- ・一時貯水タンクD 3月1日午前10時30分～午後0時56分。排水量360m³
- ・一時貯水タンクC 3月2日午前11時19分～午後3時48分。排水量667m³
- ・一時貯水タンクJ 3月4日午前10時34分～午後3時15分。排水量697m³
- ・一時貯水タンクK 3月6日午前10時22分～午後1時43分。排水量498m³
- ・一時貯水タンクA 3月7日午前10時25分～午後1時52分。排水量514m³
- ・一時貯水タンクB 3月9日午前11時3分～午後3時24分。排水量647m³
- ・一時貯水タンクF 3月11日午前10時33分～午後2時57分。排水量657m³
- ・一時貯水タンクG 3月15日午前11時31分～午後3時45分。排水量630m³
- ・一時貯水タンクL 3月16日午前10時52分～午後0時43分。排水量272m³
- ・一時貯水タンクK 3月17日午前10時32分～午後0時28分。排水量286m³
- ・一時貯水タンクJ 3月18日午前10時24分～午後0時17分。排水量278m³
- ・一時貯水タンクE 3月20日午前10時30分～午後2時46分。排水量634m³
- ・一時貯水タンクB 3月21日午前11時12分～午後3時2分。排水量570m³
- ・一時貯水タンクA 3月22日午後0時28分～午後3時39分。排水量472m³
- ・一時貯水タンクG 3月24日午前10時29分～午後1時34分。排水量458m³
- ・一時貯水タンクJ 3月26日午前10時13分～午後1時28分。排水量484m³
- ・一時貯水タンクK 3月28日午前10時21分～午後2時20分。排水量594m³
- ・一時貯水タンクL 3月30日午前10時27分～午後1時24分。排水量437m³
- ・一時貯水タンクE 3月31日午前10時25分～午後2時9分。排水量555m³
- ・一時貯水タンクG 4月2日午前10時8分～午後3時9分。排水量747m³
- ・一時貯水タンクB 4月3日午前9時51分～午後0時29分。排水量389m³
- ・一時貯水タンクK 4月6日午前10時24分～午後1時12分。排水量418m³
- ・一時貯水タンクL 4月7日午前10時26分～午後4時37分。排水量923m³
- ・一時貯水タンクD 4月10日午前10時27分～午後2時49分。排水量652m³
- ・一時貯水タンクC 4月11日午前10時24分～午後5時8分。排水量1,005m³
- ・一時貯水タンクA 4月13日午後0時35分～午後4時59分。排水量657m³
- ・一時貯水タンクE 4月15日午前10時12分～午後2時48分。排水量683m³
- ・一時貯水タンクF 4月16日午前10時32分～午後2時39分。排水量614m³
- ・一時貯水タンクG 4月17日午前10時18分～午後0時53分。排水量385m³
- ・一時貯水タンクD 4月18日午前10時9分～

<特記事項>

現時点での特記事項なし

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- ・一時貯留タンクグループ1 1月6日午前10時14分～午後5時7分。排水量1,878m³
- ・一時貯留タンクグループ3 1月12日午前10時11分～午後4時41分。排水量1,776m³
- ・一時貯留タンクグループ2 1月20日午前10時22分～午後3時54分。排水量1,522m³
- ・一時貯留タンクグループ1 1月31日午前10時2分～午後4時27分。排水量1,738m³
- ・一時貯留タンクグループ3 2月1日午前10時9分～午後4時50分。排水量1,811m³
- ・一時貯留タンクグループ2 2月8日午前11時59分～午後6時24分。排水量1,787m³
- ・一時貯留タンクグループ1 2月15日午前10時17分～午後4時43分。排水量1,755m³
- ・一時貯留タンクグループ3 2月22日午前10時29分～午後4時31分。排水量1,634m³
- ・一時貯留タンクグループ2 3月2日午前10時25分～午後4時8分。排水量1,574m³
- ・一時貯留タンクグループ1 3月8日午前10時16分～午後3時25分。排水量1,387m³
- ・一時貯留タンクグループ3 3月15日午前10時23分～午後3時20分。排水量1,337m³
- ・一時貯留タンクグループ2 3月22日午前10時9分～午後3時2分。排水量1,342m³
- ・一時貯留タンクグループ1 3月29日午前10時15分～午後3時12分。排水量1,301m³
- ・一時貯留タンクグループ3 4月5日午前10時20分～午後3時21分。排水量1,357m³
- ・一時貯留タンクグループ2 4月12日午前10時14分～午後3時25分。排水量1,424m³

<特記事項>

*地下水バイパス貯留タンクグループ1の排水を1月25日に予定していたが、循環運転中にタンク水位に若干の上昇が見られたことから中止した。なお、原因は調査中。

地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の排水前の循環運転時に水位上昇した件について調査を行った結果、グループ1とグループ3を連結している循環ラインの入口弁のシートパスが原因であることを確認。

その後、当該弁の開閉操作を実施し再度、循環運転を行ったところ、水位に変動がないことを確認。

当該タンク水については、再度分析を行い、結果を確認したうえで排水を行う予定。

地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社及び第三者機関による再分析した結果、共に運用目標値を満足していたことから、1月31日に排水を実施する。

【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1号機放水路のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項無し

その他

【陸側遮水壁】

現時点での特記事項なし

【雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【増設雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【窒素封入設備】

現時点での特記事項なし

【その他設備の不具合・トラブル】

現時点での特記事項なし

【けが人・体調不良者等】

・1月15日午前1時10分頃、発電所構内において、パトロール中の協力企業作業員が階段を踏み外して左足を負傷した。入退城管理棟救急医療室にて、「左足関節部骨折の疑い」と診断され、1月16日、医療機関にて「左足関節三果骨折」と診断され手術を行う予定であり、休業を要する災害と判断したため、お知らせする。

状況は以下のとおり。

- ・発生場所 : 発電所構内 6号機原子炉建屋(屋外)
- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無: なし
- ・発生状況 : パトロール中階段を踏み外し負傷

・3月13日、スラッジヤード重機置き場において、負傷者が発生し、入退城管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午後9時58分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- ・発生時刻 : 3月13日午後8時47分頃
- ・発生場所 : 発電所構内 スラッジヤード重機置き場
- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員

・身体汚染の有無: なし

- ・発生状況 : 作業中、重機キャタピラー一部(高さ1.5m程度)より転落し、足及び腰を負傷した。

意識あり、自力歩行困難

当該負傷者は、救急車でふたば医療センターに到着した。

- ・入退城管理棟救急医療室の退出時刻: 3月13日午後10時19分
- ・救急車出発時刻 : 3月13日午後10時30分
- ・救急車到着時刻 : 3月13日午後10時45分

その後、当該負傷者は、ふたば医療センターにて診断の結果、腰椎骨折と診断され、入院が必要と判断。

【その他】

・地下水(1~4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス)、排水路、海水(港湾内、港湾外、1~4号機取水口内)、魚介類、海藻類等の分析結果について、一部のデータ(護岸地下水観測孔 分析結果(1/2)護岸地下水 地下水観測孔 No. 1-16トリチウム)が、至近の分析結果と比較して上昇しております。なお、海側遮水壁の外側の海水分析結果に有意な変

動は見られておりません。

・昨日(2023年4月15日)お知らせした、地下水(1~4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス)、排水路、海水(港湾内、港湾外、1~4号機取水口内)、魚介類、海藻類等の分析結果について、一部のデータ(護岸地下水観測孔 分析結果(1/2)護岸地下水 地下水観測孔 No. 1-16トリチウム)が、至近の分析結果と比較して上昇した件について、その後の状況は下記の通りです。

同護岸地下水観測孔(4月15日採取)の分析結果は、4月14日採取より前の分析結果と同程度であることを確認しております。

また、周辺の護岸地下水観測孔(4月14日採取)のトリチウム分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんした。

なお、至近のプラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、異常は確認されておられません。

引き続き、護岸地下水観測孔周辺の監視を行ってまいります。

・4月17日午前2時25分頃、福島県沖を震源とする地震(マグニチュード4.6)が発生。(双葉町:震度3、大熊町:震度4、楡葉町:震度4、富岡町:震度3)

発電所内で観測された地震加速度の最大値は、6号機原子炉建屋基礎マットにおいて、水平:11.8ガル、垂直:10.6ガル。

プラント状況は以下の通り。

- ・モニタリングポスト指示値 : 有意な変動なし
- ・発電所敷地境界ダストモニタ指示値 : 有意な変動なし
- ・原子炉注水設備(1, 2, 3号機) : 運転継続
- ・使用済燃料プール冷却設備(1, 2, 5, 6号機, 共用プール) : 運転継続
※3, 4号機は地震発生前から使用済燃料を取り出し済み
- ・陸側遮水壁設備 : 運転継続
- ・外部電源(大熊線3L, 4L) : 異常なし
- ・外部電源(双葉線1L, 2L) : 異常なし
- ・1~6号機設備プラントパラメータ : 異常なし
- ・滞留水移送設備・水処理設備パラメータ : 異常なし
- ・排気筒モニタの指示値 : 有意な変動なし
- ・構内ダストモニタ指示値 : 有意な変動なし
- ・構内線量表示器指示値 : 有意な変動なし
- ・構内排水路モニタ : 有意な変動なし
- ・海水放射線モニタ指示値: 地震発生前から点検中

地震後のパトロールを実施した結果、各設備に異常がないことを確認。

また、本地震によるけが人の発生は確認されてない。